

ほいく八王子

一般社団法人 八王子市私立保育園協会

会報 No.134 平成31年1月号



新年のご挨拶

一社)八王子市私立保育園協会 会長 宮崎 豊彦

謹んで新春をお慶び申し上げます。

皆様にとりまして、今年が良き1年でありますよう心からお祈り申し上げます。

「新しい希望と決意とをもって新しい年のはじめを祝う」国民の祝日のひとつとして、昭和23年に制定された元旦ですが、来年はどんな年号になっているのか楽しみでもあります。4月に新しい年号が発表され、5月から新しい年号となります。新天皇の即位の祝福と共に新年号を使ったシステムの改修による影響を少なくするという意味合いもあるようですが、4月下旬から5月上旬にかけて大型連休となり、保育園の職員にとっては、長い期間連続で休めますので、とてもありがたい年となるように思います。

ご承知の通り、今年の10月からは消費税が10%となり、幼児教育・保育の無償化が予定されております。食料費の取扱いについては、主食費・副食費ともに施設による実費徴収を基本とすることになりました。食料費の取扱いの見直しや免除の制度等については、国と地方自治体とが協力して、保護者や事業者への丁寧な説明に努めることとなっておりますので、今後国や八王子市からの説明等を受け、その対応について考えていかなければなりません。また、無償化の影響により八王子市の待機児童数がどのようになるのかも注視していかなければなりません。

保育所保育指針の改定により、指導計画・保育計画等の見直しをして、昨年4月から実施された新年度でしたが、今年も年号の変更や保育料の無償化の対応等で少し慌ただしい年になるのかもしれない。

日本全国で人手不足の状況がありますが、八王子市でも保育士不足の解消はなかなか進まず、保育士不足によって新年度の受け入れ人数を減らさざるを得ない保育園の状況もあります。昨年10月の有効求人倍率は1.6倍以上であり、建設業は5.05倍、外食業は3.92倍となっています。国においては、人手不足の緩和の為の改正出入国管理・難民認定法が昨年12月に成立し、経済成長を底上げする効果が期待されており、2019年度からの5年間で最大34万5,150人の外国人労働者が就労する予定です。将来的には、八王子市においても外国人のお子さんの入園が増えていくのかもしれない。

急速な少子高齢化のため、高等学校や大学の閉校といった話も出てきておりますが、今後各自治体において、人口減少を食い止める為の施策等がますます多く出てくると思います。八王子市私立保育園協会としても八王子市の人口が維持されるように八王子市と協力して進んでいかなければならないと思います。

昨年、社会福祉法人の変遷についての研修会を受けた時の講師の先生が、最後に紹介された詩です。

「あとからくるもののために」 坂村真民
あとからくる者のために 苦勞をするのだ 我慢をするのだ 田を耕し 種を用意しておくのだ
あとからくる者のために しんみんよお前は 詩を書いておくのだ
あとからくる者のために 山を川を海を きれいにしておくのだ
あああとからくる者のために みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続く あの可愛い者たちのために 未来を受け継ぐ者たちのために
みな夫々自分で出来る何かをしてゆくのだ

今年も、あとからくる子ども達のために会員園の皆様と共に歩み、協力し進んでいきたいと思っております。今後共、ご支援いただきますようよろしくお願い致します。

全 体 会 報 告

平成30年11月26日(月) 14:00~16:30 (受付13:30)

京王プラザホテル八王子 4階

司 会：山下先生

記 録：高木

1. 副会長挨拶：榊原先生

今年度も残すところ4ヶ月になりました。今までの8ヶ月を振り返り、課題があれば見直しを掛けながら、保育が出来たらと思います。

2. 会長挨拶：宮崎先生

石坂先生の黙祷ありがとうございました。一般社団法人になって新規事業をいろいろやっております。今年より八王子で指導検査が午前午後と2部にわかれて毎年行われることになった。指導監査部の方には皆さんのご意見を踏まえてなるべく先生がたの負担にならないようにお願いしました。

3. 行政説明

- 八王子市社会福祉法人ネットワーク会について
支えあい推進課：井出課長

平成28年の社会福祉法改正で、すべての社会福祉法人地域における広域的取り組みの実施が責務化された。地域のランドマークである保育園に誰でも何でも相談窓口を設置し、支援を必要としている地域住民を早期発見することによって事態の深刻化を防ぐことができると考えている。

4. 保育園協会新規事業及び報告事項

- 有料職業紹介事業について：塚本先生
事業の申請書を作成しまして。9月の27日付で受け付けを受理していただきまして、11月の30日金曜日に許可が下りることになりました。
- 東京都保育士等 キャリアアップ研修について：中林先生
東京都のキャリアアップ研修ですが、すでに2回を実施させていただいています。今後主任の先生が研修へ参加する場合1,000円の費用負担がかかります。
- 保育園協会ホームページについて：石井先生
協会の研修やキャリアとの研修などの受け付け業務などをホームページを活用して行おうと思っております。現在3社の業者より説明と見積もりを受け、価格や機能及び使いやすさ等を考慮



しまして、1社を選択させていただきました。

- 平成30年度補正予算について：秦先生
キャリアアップ研修や有料職業紹介事業の準備などにより、当初予算よりも収入支出が大分変わってきてしまったので、補正予算案を作成させていただきました。

5. 各部会報告

組織運営部：塚本先生

- 平成31年1月22日(火)全体会および新年会の会場の手配を行った。

予算対策部：島本先生

- 10月23日予算提言書の提出

広報部：落合先生

- 10月の末にほいく八王子133号を郵送することができました。

福利厚生部：鳥海先生

- 10月27日に高尾スターレーンにてボウリング大会を開催し、122名の参加。優勝は中野保育園牛尾先生、団体優勝は桑都保育園
次年度は10月26日(土)開催予定。
- 民謡流しの際に使わなかった手ぬぐいを持参いただきましてありがとうございました。回収できなかったものについては次年度必要時に使っただけたらと思います。

研修部

園長研修委員会：秦先生

- 平成31年2月22日は日帰りにて昭島市の認定こども園「イコロ昭和の森」の見学。申し込み締め切りは12月25日

保育研究委員会：島本先生

- ・10月31日にハンガリーの保育を紹介しながら研修。45名の参加
- ・1月29日保育従事者研修

障害児等研究委員会：大塚先生

- ・11月13日 台町市民センターにて第2回保育フォーラムを開催。
40名ほどの参加。第3回は平成31年2月19日台町市民センターにて開催予定。

保健衛生研究会：山下先生

- ・9月20日に予防接種橋本小児科の橋本先生に講演していただきました。
会場：クリエイトホール視聴覚室 定員：50名

給食研究委員会：内藤先生

- ・11月14日八王子医師会幼稚園協会保育園協会との三者懇談会が医師会会館で行われました。

特別委員会：折井先生

- ・11月保育園協会・幼稚園協会・医師会との三者懇談会。
発達支援コーディネーターの育成について、コーディネーターを育成する研修の補助金を東京都が削減するため、八王子市としては八保協に研修を投げようとしている。

青年部：榊原先生

- ・9月8日に本年度も八王子保育園フェアを開催させていただきました。今年度来場者29名
- ・保育士を目指す高校生に対しての保育進学セミナーを開催いたしました。養成校14校参加

八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会：石井先生

- ・前回の全体会より2回ほど児童福祉施設等認可部会が開かれた。
8月24日 第1回目。由井地域及び北野地域定員70名程度0歳から2歳または0歳～5歳
- ・10月1日 第2回目。長房団地建て替えに伴う認可保育園の施設整備及び運営事業者に関わる審査

6. 各団体より

東京都民間保育園協会：宮崎先生

- ・11月20日東京都知事への予算要望を提出。
30日に雇用対策部会行う予定。そこで来年度の保育園フェアの日程が決まる。
6月の29日30日秋葉原会場 7月13日立川会場
- ・12月11日経営層向けの研修会

講師：宮内真紀子先生

- ・12月12日全国私立保育園連盟にて国会への予算要望

東京都社会福祉協議会 保育部会：折井先生

- ・東社協保育部会地区改選により折井先生、秦先生、森屋先生再任
- ・都知事ヒヤリングにて要望書を持参して内容を3点に絞って説明をした
- ・市区町村の予算付において格差のないようにしていただきたい。
- ・国の人員配置の最低基準を上回るような手当を考えて欲しい。
- ・キャリアアップ研修の充実

東京都保育推進連盟：宮崎先生

- ・11月27日（火）保育推進協議会30周年記念式典立川グランドホテルにて。

八王子市保育政策会議

- ・報告事項がありませんでした。

八王子市保幼小連絡協議会：島本先生

- ・12月13日学芸大の岩館先生の講演会。
テーマ：幼児教育と就学学習をどうつなげていくか
- ・スタートプログラムというのを教育委員会中心に検討している。
- ・保育所児童保育要録の書式が変わった。

7. その他

- ・八王子保育専門学院が開催する、保育士資格取得フェアの広告を地域新聞のショッパーの11月16日号に掲載した。

閉会あいさつ：光宗先生

本来ならばブロック会を開いて次期役員を選出して頂きたかったのですが時間が無く、各ブロックで開催して頂ければ幸いですのでよろしくお願ひします。

以上で本日の全体会を終了させていただきます。



ボウリング大会

桑都保育園団体優勝者コメント



塩崎 明子

ボウリング大会への参加3回目で、念願の団体優勝をすることが出来ました。ボウリング大会当日は、桑都保育園の一大イベント、お楽しみ発表会があり、ユニホームの桑都Tシャツを皆着たままチームワークたっぷりで臨みました。念願の優勝トロフィーを持ち帰ることができ、嬉しかったです。しかし、それ以上に嬉しいことに、園長先生・副園長先生からご褒美として焼肉店へ連れて行っていただきました！人生でこれまで食べた事のないほどの大変美味しいお肉をお腹いっぱい御馳走になり、まさにほっぺが落ちそうなほど幸せでした。平成最後の優勝を勝ち取った桑都保育園の目標はもちろん、二連覇!!次回の大会を楽しみにしています。



杉山 翔美

「優勝したら焼肉食べ放題！」と言われて、始まったボウリング大会への挑戦。桑都保育園に入り、1年目はボウリングを楽しみ、2年目は3位で悔しさを覚えました。「トロフィーを持って帰りたい」「焼肉を食べたい」の一心で挑み、3年目となった今年、園の大きな行事、お楽しみ発表会後で、お揃いTシャツパワーで団結力も生まれた気がします。見事、3度目の正直で優勝することが出来ました。結果発表の時に持ったトロフィーはとても重く感じました。園長先生・副園長先生にご褒美として焼肉に連れて行ってもらったことも、とても嬉しかったです。そして、最高においしかったです。参加させていただいた上に、楽しい思い出と美味しい思い出が出来ました。来年も焼肉のために2連覇を目指します！



塩澤 来実

私は社会人になり、桑都保育園に入ってからボウリング大会に出続け3年目。今年こそは優勝したいと思い、楽しみながら全力でやりました。本番は、私のスコアはダメダメだったのですが、チームの仲間のおかげで優勝することができました!!

2018年一番嬉しかったです!!!

次回こそは、私がみんなを引っ張れるよう2連覇目指して頑張ります!!



石森市長に表敬訪問

表彰状 厚生労働大臣賞
まや保育園 園長 小島正存 殿

表彰状 福祉・医療・衛生功労賞
藤井保育園 園長 榊原美代子 殿

「厚生労働大臣表彰を受賞して」

宗教法人 妙経寺 まや保育園
園長 小島正存

私事で恐縮ですが、永く保育園に携わってきたことを評価していただき、昨年11月22日に「厚生労働大臣表彰」を受賞させて頂きました。一昨年の「東京都功労者表彰」に引き続いての受賞に、驚きと共に大きな喜びをもって受けさせて頂きました。

顧みますと、昭和30年開園の「まや保育園」を初代園長小島功存と共に運営を支えていた小島延子主任保育士（母）が、昭和49年に52歳で亡くなりました。そのとき私は若干22歳で、保育園のことは右も左もまったく解らない状態で、急遽運営を手伝うこととなりました。当時ひまわり保育園園長をお勤めでした野上良仁氏に大変お世話になり、また暖かいご指導も頂きました。また八王子園長会の先輩園長先生方にもご指導いただきました。その後八王子保



育研究会の創立メンバーに入れて頂き、よき仲間と切磋琢磨して共に成長させて頂きました。その後園長会は八王子保育園協会と組織を発展させ、また保育園の数も飛躍的に増え会員園長先生方にもお世話になりました。また永年にわたり「まや保育園」の保護者の方々や、職員に恵まれかわいい園児の皆さんに囲まれ過ごすことができ、今回の表彰を受けることが出来たのだと深く感謝申し上げます。これからも保育園と関係各位の方々と共に益々精進して行きたいと思っております。



シリーズ 私の保育園

なみのり保育園

園長 石井 廣 治

開園して40年が経ち、卒園児も1,000人を超えました。子どもの身体づくりに力を注いできましたが、保育園周辺の環境も変わり、自然体験の中で、「おもしろさ」「不思議さ」「美しさ」などに感動できる内面的な育ちをより大切にしています。

保育園のある中山は八王子市の南部に位置する地域。昔ながらの多摩丘陵の風景を残し、北部には鎮守である白山神社があります。中山中学校付近の谷から湧出して大栗川に注ぐ岩入川（中山川）が流れ、私の心の中にある自然との思い出を子ども達も持つるように、園の周りの自然の維持に努めています。

子ども達が収穫の喜びを味わえるよう、畑では給食の残飯や落ち葉を利用して堆肥を作り、じゃがいもやさつま芋を作っています。子ども達の背丈より高いひまわりの畑では、ヒワや鳩、スズメがひまわりの種をついばみに訪れます。延長保育が終わり耳を澄ますと、コオロギやヒグラシの鳴き声が聞こえ、



夕闇が迫る夏の夜には、蛍が芝生の園庭の側を飛び舞います。

平成の御代が終ろうとしています。時代の変化やテクノロジーの進化によって、子育てのあり方が大きく変わる中、子ども達には園での生活を通して自然の変化に気づき、心を揺さぶる様々な経験をしてほしいと考えています。

私の年齢で「ふるさと」と聞いて思い出す歌詞は、
兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷 ですが、今の子ども達はNHK合唱コンクール課題曲の嵐が歌う「ふるさと」だそうです。

「ふるさと」は人生のスタートの場所ですが、どこに向かって走っているかわからない時もあります。そんな時はスタートまで戻ると、また先に進もうという気持ちが芽生えるそうです。保育園が子ども達の「ふるさと」の一部となれるよう、これからも時代に即した方法を取り入れながら、「変えてはいけないもの、変えなければならないもの」のどちらにもこだわりを持ち続けて行きたいと思います。



元木保育園

園長 中林 秀人

ほいく八王子の名物コーナーとも言える「シリーズ私の保育園」。各園の様々な理念や特色を知る事ができるので毎回興味深く拝見しています。本園もしばらく前にご紹介しましたが、協会は加盟園が多いので「自分のところへは当分来ないだろうナ～」とノンビリ構えていたら今回の原稿依頼でビックリしました。それはさておき、ちょうどよい機会でもあるので、改めて本園の今日までを振り返ってみたいと思います。

時は昭和54年、本園も多くの保育園同様、地域に子どもを預かる施設が足りず、困っている方が多いとの状況から保育園を開園しました。事の真意は不明ながら、この年は7園が同時に開園したと聞いたことがあります。その後、業界関係者や町会等多くの方のご理解・ご協力のもと数十年が経過しました。この間私事ではありますが、開園から長年勤務した理事長と事務員が近年相次いで交代し、共に仕事をしてきた身としては一抹の寂しさは感じつつも、その一方で自身が担任を持ったお子さんが今度は保護者で入園してくる姿を見ると、人の人生に関わる事の出来るこの仕事の有難味も感じています。

また、組織が充実し民保協の八王子支部ともいえる当協会です。学ぶには恵まれたこの環境の中、今日に至るまで沢山の先輩から沢山の事を教えていただきました。これは知識・経験共に未熟で園長職に就いた者にとって、大きな財産になったことは間違いありません。

さて、ここからは本園の環境面についてご説明していきます。施設のおおよその内容は市のHPに掲



載されているのでここでは省略させて頂き、折角業界関係者をご覧になるのですから、少し視点を変え本園の置かれた課題等についてご説明していきます。

本園が位置するのは八王子駅から車で約30分。本園周辺を見渡すと広さにもよりますが、概ね2千万円以下でカーポート2台付きの新築一軒家が購入できます。近年は比較的廉価で一軒家が購入できると、緑豊かな環境を求め子育て世帯の流入が目立ちます。それにより入園の問い合わせも時折ありますが、60名定員の少ない枠では受入れも難しく、時には恨み言まがいの事も言われますがこればかりは仕方ありません。ニーズにこたえる為定員増も一案かもしれませんが、基本的に待機児童が0名からごく少数のこの地域です。それはそれでまた違った課題が生じるかもしれません。

さてここからは今回の原稿のキーワードにしたい「60人定員」に触れていきます。60人定員というと業界的にはほぼ100%の方が「こじんまりして保育をするには良いね！」と仰います。確かに保育の実施から見れば良いのかもしれませんが、世の中面白いもので、どこの園でも理念に添ってより良い保育や給食を実施しようとするれば費用が掛かります。本園のような小規模園では規模別単価の公定価格とは言え、年間収入も期待できるものではありません。この限られた予算の中で保育や給食の質の向上と、かつ職員の待遇向上、また、60人定員ながら敷地面積1570㎡、建物面積534



m²と維持費が掛かる環境の中、修繕費や施設整備費等の確保が本園の課題であり頭を悩ますところです。

しかしながらメリット・デメリットはいずれの法人・保育園でもあることでしょうし、大規模園の方に話を聞くと大勢の保護者対応をはじめ、それはそれでご苦労も多いようです。お互い隣の芝生は綺麗に見えるのかもしれませんが、本園としては今後も1法人1施設、かつ小規模な組織の機動性を生かし、例えて言えば北浅川の溪流をスイスイ・のびのびと泳ぐ小魚の如く、保育理念である「自然にふれ、のびのび保育」を今後も実践していきたいと思えます。

結びに近隣のあきるの市ではすべての幼稚園が認定こども園へ移行すると聞きました。八王子市にも株式の保育園が開園します。ここでその是非は問い



ませんが、本園の次回掲載時には協会と本園がどのように発展しているか、わが身のことながら楽しみにしつつ筆を置かせて頂きます。



編集後記

明けましておめでとうございます。新しい年の幕開けです。

今年の干支の亥（いのしし）の意味は、不思議なことに猪の肉は、万病を予防するなどと言われています。すなわち「無病息災」の象徴のようです。

そして今年の新元号が2019年4月30日に決定される記念すべき年になります。明治がM、大正がT、昭和がS、平成がH、アルファベットひとつにしてもきっと重ならないのでは…と。さて新元号はどのような名称になるのか予想も気になりますよね。新しい年が皆様にとって素晴らしい1年になりますよう心から祈念申し上げます。

（内藤）